

第29回南木曾町リニア対策協議会開催

第29回南木曾町リニア対策協議会が令和2年8月3日に南木曾会館で開催されました。今回は、鉄道・運輸機構から山口工区の工事進捗状況等

について、JR東海から広瀬工区の状況等と環境保全計画について報告がありました。その後、町とJR東海との折衝により作成された「工事用車両の通行等に伴う確認書(案)」について及びJR東海から新たに提案があった「長者畑の発生土置き場としての利用について」協議を行いました。

工事工程 (JR東海資料より)

作業項目	年度		令和2年 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
	上半期	下半期							
中央アルプストーンネル (広瀬)	道路改良工事		■						
	準備工(非常口ヤード整備等)		■						
	トンネル掘削			■	■	■	■	■	
	覆工・路盤工					■	■	■	
	発生土置き場整備工				■	■	■	■	
	後片付け								■

協議事項の「確認書(案)」については、委員から意見をいただき必要があれば修正することになりました。「長者畑の発生土置き場」については、地元理解を得たうえで候補地としてJR東海が調査することを協議会として了承することになりました。

※説明資料は町のホームページをご覧ください。

都市部の繁華街や人が大勢集まる場所をはじめとして、感染拡大地域への往来にあたっては慎重な行動を心がけてください。

■報告事項

①山口工区の工事進捗状況について
(鉄道・運輸機構より)

2月に斜坑の掘削が完了し、先進坑の掘削に入りました。現在、先進坑掘削を止め、本坑掘削と前方の地質把握のため先進ボーリングを実施しています。先進ボーリングが終わり次第、先進坑を掘進していく計画です。

②広瀬工区の状況及び今後のスケジュールについて
(JR東海より)

7月2日に広瀬地区、7月3日に蘭地区、7月30日に妻籠地区で工事説明会を実施しました。

今後のスケジュールについては、8月中旬に町道柵橋線改良工事に着手し、10月にヤード整備、仮橋工事に着手、斜坑の掘削開始は2021年

夏頃を予定しています。

※JR東海、鉄道・運輸機構及び清水JVが行った地元説明(蘭地区で8月7日、広瀬地区で8月18日)において、町道改良工事に伴う迂回路の説明等があり、町道柵橋線工事着手することが確認されました。

※8月7日に鉄道・運輸機構から道路の自営工事の申請があり町は8月20日に許可しています。工事は8月31日に着手されました。

③広瀬工区環境保全計画について
(JR東海より)

工事説明会での住民からの意見に配慮した環境保全計画を8月3日に公表しました。

環境影響評価書に基づいて実施する環境保全措置、事後調査及びモニタリングの具体的な計画、並びに工事中の周辺環境への影響回避又は低減するための管理計画について取りまとめたものが環境保全計画です。

※県から町に環境保全の見地からの意見照会があるので、委員から環境保全計画に対する意見を町に提出いただくことになりました。

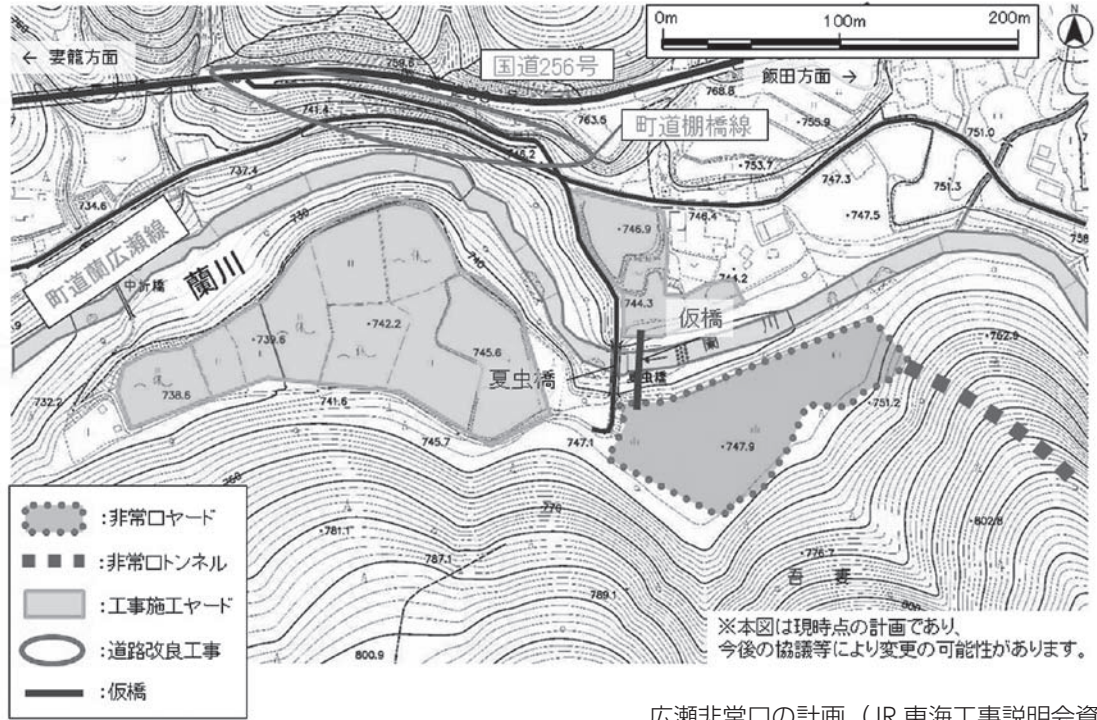
■協議事項

①工事用車両の通行等に伴う確認書(案)について
(JR東海より)

令和元年8月21日に締結した「中央新幹線建設に伴う工事に伴う確認事項」に基づき工事用車両の運行に係る時間帯や安全対策等に関する確認事項を別途文書です。

確認書は、工事用車両の通行等に関する確認を行うことにより、工事用車両の通行による影響を低減させ、もって町内の交通安全の確保及び工事の円滑な施工を図ることを目的としています。

通行経路、安全対策、工事用車両の通行時間帯等、配慮



広瀬非常口の計画 (JR 東海工事説明会資料より)

いたずらに不安を募らせないよう正しい知識と情報に基づいた行動を取りましょう。

発生土置き場候補地として十二兼地区がありますが、広瀬工区、尾越工区から出てくる発生土を全て入れることはできません。町から紹介いただいた場所は小規模であったり、街中であつたりするため、非常口から近くて住んでいる人が少ないルートを通ることができ、できるだけ大容量の発生土置き場を確保したいと検討を進めてきたのが長者畑です。

②長者畑の発生土置き場としての利用について (JR東海より)

※協議会の後、提出された委員の意見等を反映させて修正を行い、令和2年8月20日に確認書は締結されました。(締結された確認書の写しをホームページに掲載しています。)

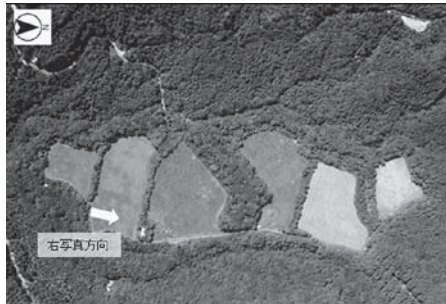
事項、道路維持管理の内容等、工事施工業者等への通知、及び確認書の有効期間を定めています。
また、発生土置き場への通行経路等が決定した場合等、南木曾町内における中央新幹線建設工事の進捗により、必要に応じて確認書の見直しを行います。

詳細な調査を行った上でなければ発生土置き場としての是非の判断はできないとの意見、地元の賛同を得てから調査した方がよいとの意見があり、まずは調査の内容や考え方などについて地元での説明

協議内容

今後の進め方については、発生土置き場として地権者、関係機関等と協議、検討を進めます。まずは、現地の測量、地質調査及び環境調査の実施に入り、調査等の結果を踏まえて詳細な検討を進めて、改めて説明をしたいと考えています。

畑です。
長者畑は広瀬非常口から距離約6km、尾越非常口から約9kmの位置にあります。採草地として利用されてきましたが、現在は使用されていません。比較的緩やかな平場です。
施工管理については、関係法令等を遵守して設計・施工します。管理方法については、これから地権者や関係者と協議します。長者畑については当社で恒久的に維持管理する方向で協議をしたいと考えています。



長者畑の現地状況 (JR 東海資料より)

を行うことになりました。
※JR東海、鉄道・運輸機構及び清水JVが行った地元説明(蘭地区で8月7日、広瀬地区で8月18日)において、長者畑を発生土置き場の候補地として調査を実施したいとの説明が行われました。